

記者席配付資料
令和6年5月31日
総務部財政課

グリーン/ブルーボンドの発行について

本県2回目となるグリーン/ブルーボンドについて、令和6年7月に発行しますのでお知らせします。

1 発行概要

銘柄名	岩手県令和6年度第1回公募公債（グリーン/ブルーボンド・5年）
年限	5年（満期一括償還）
発行額	50億円
条件決定日	令和6年7月を予定
取扱証券会社	大和証券㈱、野村證券㈱、みずほ証券㈱

2 「岩手県グリーン/ブルーボンド(令和5年度発行)インパクトレポート・ブック」について

- 「岩手県グリーン/ブルーボンド・フレームワーク」に基づき、グリーン/ブルーボンドにより調達された資金は、環境改善効果が見込まれる事業に充当され、その事業の効果を投資家に適切に情報公開する必要があります。
- 今般、上記の情報公開に関する資料について、県ホームページに公開しました。



公開先は以下のとおりです。

- トップページ > 県政情報 > 予算 > 全国型市場公募地方債・グリーン共同発行市場公募地方債（グリーン共同債） > 岩手県グリーン/ブルーボンドの概要
(<https://www.pref.iwate.jp/kensei/yosan/1059090/1072370/index.html>)

3 令和6年度「グリーン/ブルーボンド発行に係る説明会」の開催について

市町村や県出資等法人等を対象に、以下のとおり開催予定。（報道機関取材可）

(1) 開催日時

令和6年6月7日（金）14：00～15：30

(2) 開催会場

岩手県水産会館 5階 大会議室

【担当】調査担当課長 田山（TEL 019-629-5090）

岩手県が発行する グリーン/ブルーボンドのご案内

年限
5年

発行額
50億円

各公債の
金額
1,000
万円

対象
法人向け

条件決定日
2024年
(令和6年)
7月予定

「岩手県グリーン/ブルーボンド」の概要

年限	5年（満期一括償還）
発行額	50億円
条件決定日	2024年（令和6年）7月予定
引受会社	大和証券株式会社（事務）／野村証券株式会社／みずほ証券株式会社
適合性評価	本債券の発行に際し、資金用途などを明記した発行の枠組み（グリーン/ブルーボンド・フレームワーク）を策定し、第三者機関である株式会社日本格付研究所（JCR）より、国際資本市場協会（ICMA）によるグリーンボンド原則2021及び環境省グリーンボンドガイドライン2022年版等への適合性について、最上位である「Green1(F)」及び「Blue1(F)」の評価を受けています。
債券の種類	市場公募債（法人投資家向け）
投資表明	投資表明をいただける投資家様については、本県ウェブサイト上で投資家名をご紹介します。



「岩手県グリーン/ブルーボンド・フレームワーク」について



- 岩手県グリーン/ブルーボンド・フレームワークでは、グリーン/ブルーボンドの充当事業の詳細、資金管理方法、レポーティング項目等について定めています
- 本フレームワークに基づき調達された資金は、環境改善効果が見込まれる事業に充当され、その事業の効果を投資家に適切に情報公開いたします
- フレームワーク及び第三者評価、令和5年度発行分に係るレポーティングについては、本県ウェブサイトにて公開しています

岩手県グリーン/ブルーボンド発行の情報

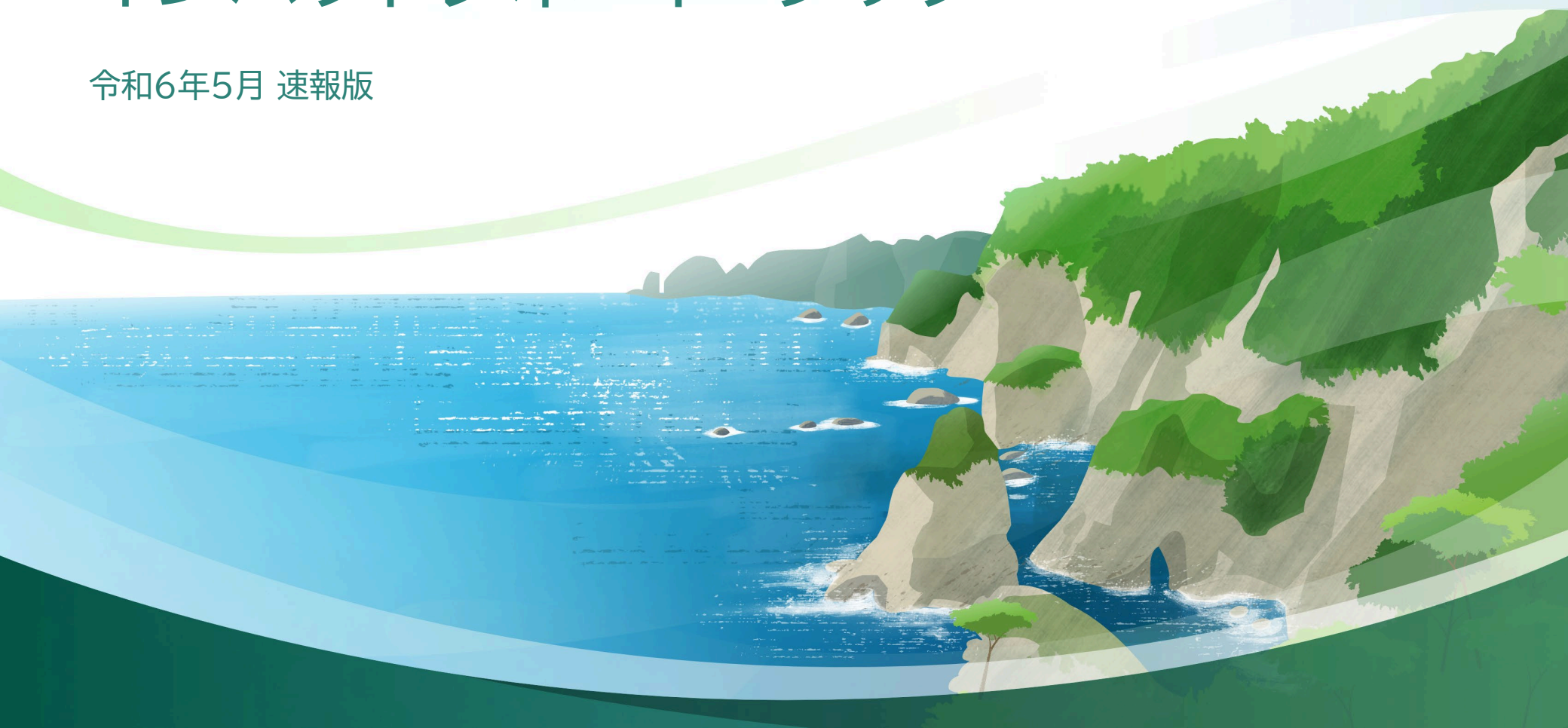
URL: <https://www.pref.iwate.jp/kensei/yosan/1059090/1072370/index.html>





岩手県グリーン/ブルーボンド（令和5年度発行） インパクトレポート・ブック

令和6年5月 速報版





目次

岩手県とSDGsの関わり

① 岩手県の概要	3
② 東日本大震災津波からの復旧・復興	4
③ いわて県民計画（2019～2028）	5
④ 第2次岩手県地球温暖化対策実行計画	6

岩手県グリーン/ブルーボンドの概要

① グリーン/ブルーボンドについて	8
② 発行概要	9
③ 投資表明一覧	10

フレームワークに基づくレポーティング

① 資金の充当状況・環境改善効果に係るレポーティング	12
② 主な資金使途について	13

- 岩手県では、令和5年7月、全国の地方公共団体で初の事例となるグリーン/ブルーボンドを発行しました。
- この発行は、環境省が主催する第5回ESGファイナンス・アワード・ジャパン（金融部門-資金調達者部門）において「環境大臣賞 銀賞」を、一般社団法人環境金融研究機構が主催する第9回サステナブルファイナンス大賞において「地域金融賞」を獲得しました。

第5回ESGファイナンス・アワード・ジャパン
「環境大臣賞 銀賞」受賞（金融部門-資金調達者部門）



令和6年2月19日表彰式当日の様子
（左：達増知事、右：伊藤環境大臣）

岩手県とSDGsの関わり



岩手県の概要



本県は本州の北東部に位置し、東西約122キロメートル、南北約189キロメートルと南北に長い楕円の形をしています。その広さは北海道に次ぐ面積であり、日本の面積の4%を占めています

岩手県の地勢

- 内陸部の大部分は山岳丘陵地帯で占められ、西側には秋田県との県境に奥羽山脈があり、これと並行して東部には北上高地が広がっています。そして、この二つの山系の間を北上川が南に流れ、その流域に平野が広がっています
- 沿岸部は、宮古市より北では、典型的な隆起海岸で、海食崖や海岸段丘が発達しています。一方、宮古市より南側は北上高地の裾野が沈水してできた、日本における代表的なリアス式海岸で、対照的な景観をみせています

岩手県の気候

- 奥羽山脈の山沿い地方は、冬に雪の多い日本海側の気候を、北上高地は高原性、盆地性の気候を示します。また、北上川沿いの平野部は、一般的に冬は寒さがきびしく、夏は暑い内陸性の気候を示します
- 沿岸部では海洋性の気候を示しますが、宮古市以北では寒流の影響のため一般的に気温が低く、冷害などの気象災害がおこりがちです



岩手山（八幡平市、滝沢市、雫石町）



山王岩（宮古市）

【出所】

図：いわてデジタルマップ

左写真：#iiiwateフォトコンテスト2019入賞「威厳」

右写真：#iiiwateフォトコンテスト2021入賞「白亜紀の記憶 三王岩」

東日本大震災津波からの復旧・復興

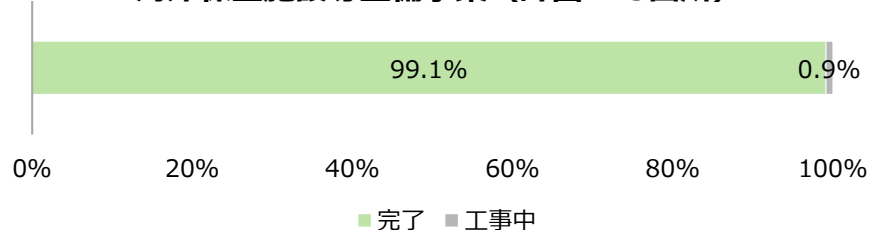


国からの手厚い財政措置などにより、復旧・復興事業は着実に進展してきました
復興道路が令和3年12月に全線開通、災害公営住宅の整備が令和2年12月までに完了、商業施設や水産加工施設が順次再開されるなど、計画されたハード事業の多くが完了しました

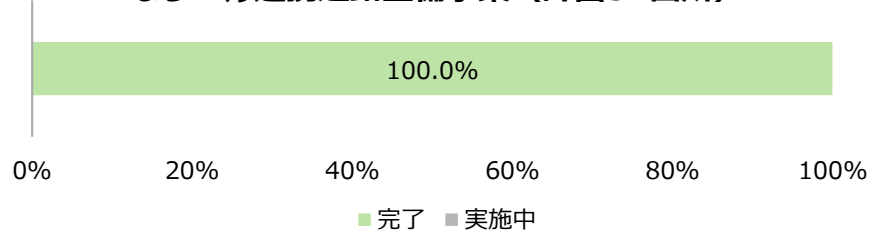
主な復興事業の進捗状況（令和6年3月31日時点）

安全の確保

海岸保全施設等整備事業（計画113箇所）

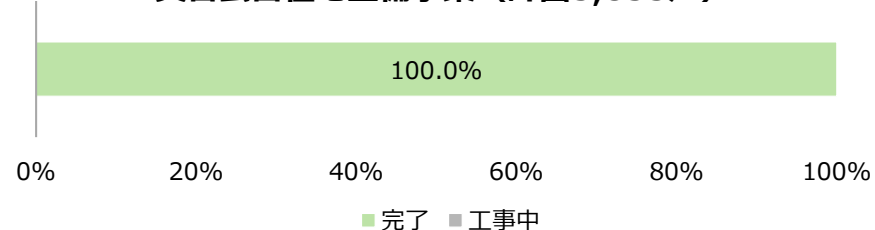


まちづくり連携道路整備事業（計画32箇所）



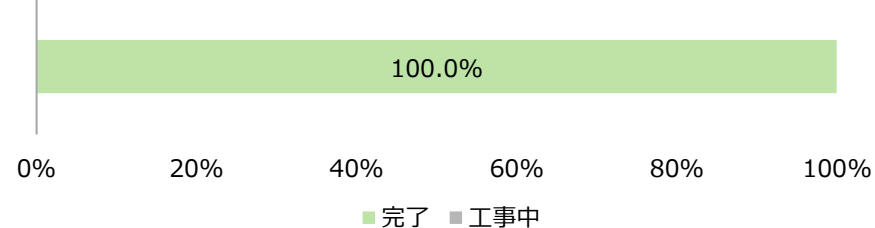
暮らしの再建

災害公営住宅整備事業（計画5,833戸）



なりわいの再生

漁港災害復旧事業（計画31漁港）



いわて県民計画（2019～2028）



本県では、「幸福」をキーワードとする10年間の長期計画「いわて県民計画（2019～2028）」を策定し、幸福を実感できる地域社会の実現に向けて取組を進めています

「いわて県民計画」とは

- 復興施策も含めた県行政の全般にわたる政策や施策の基本的な方向を総合的かつ体系的に定める県の最上位計画
- 2019年度から2028年度の10年間を計画期間としている

基本目標

東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き復興に取り組みながら、
お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて

SDGsとのかかわり

- SDGsが掲げる「誰一人として取り残さない」という基本方針は、いわて県民計画（2019～2028）における、幸福を守り育てようとする考え方と相通じるものです
- 本県も、計画の推進・取組の展開を通して、次世代にも幸福を引き継いでいけるよう、持続可能な社会の構築に取り組んでいくこととしています



いわて県民計画 長期ビジョン



第2次岩手県地球温暖化対策実行計画

本県は、「温室効果ガス排出量の2050年度実質ゼロ」を目指し、県民や事業者、行政などの各主体が一体となって、気候変動の原因となる温室効果ガス排出削減対策の緩和策と、気候変動により今後予測される被害を回避し軽減する適応策に取り組むことにより、持続可能な脱炭素社会を実現するため、第2次岩手県地球温暖化対策実行計画を策定しました

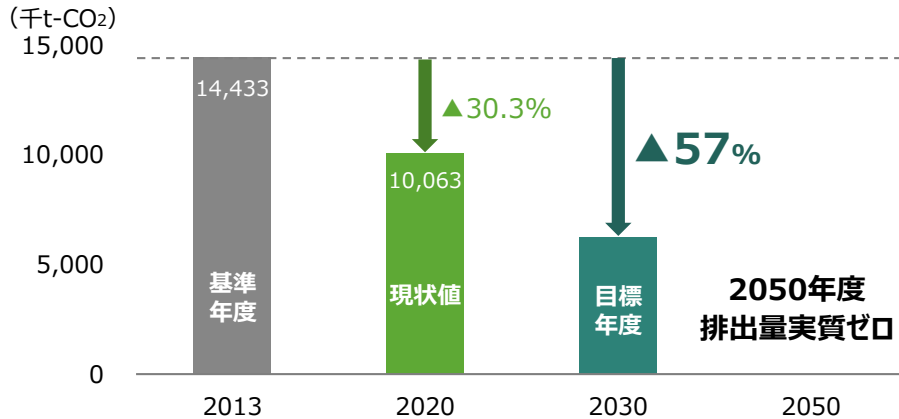
目指す姿

省エネルギーと再生可能エネルギーで実現する豊かな生活と持続可能な脱炭素社会

目標 (2030年度)

- 温室効果ガス排出削減割合（2013年度比）…… 57%
- 再生可能エネルギー電力自給率 …………… 66%
- 森林吸収量 …………… 1,416千トン

温室効果ガス削減目標

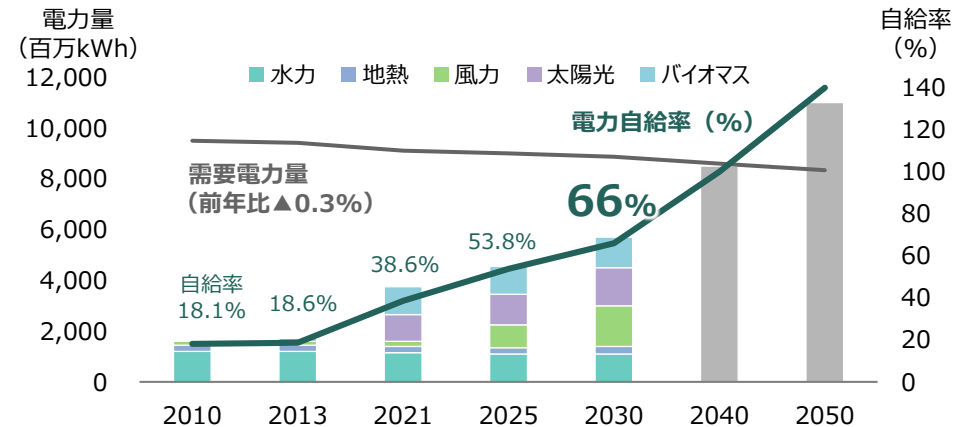


※ 排出量実質ゼロ：排出量から森林吸収量等を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。

温室効果ガス削減量

削減対策等	目標値	
	削減量 (千t-CO ₂)	削減割合
削減対策等	▲6,774	▲47%
うち、再エネ導入	▲1,040	▲7%
森林吸収	▲1,416	▲10%
合計	▲8,189	▲57%

再エネ電力自給率



岩手県グリーン/ブルーボンドの概要



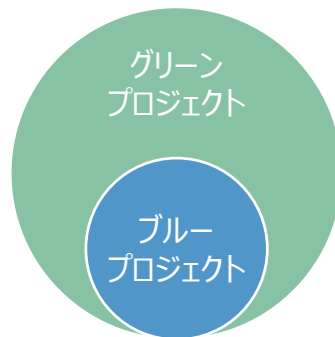


グリーン/ブルーボンドについて

岩手県は、本邦地方公共団体で初となる、ブループロジェクトを資金使途に含めた「グリーン/ブルーボンド・フレームワーク」を令和5年6月に策定し、令和5年7月にグリーン/ブルーボンドを発行しました

グリーン/ブルーボンドとは

- 地球温暖化など環境的課題解決に貢献する取り組みを「グリーンプロジェクト」と言います
- また、「グリーンプロジェクト」のうち、海洋資源・生態系の保護等に資する取り組みが「ブループロジェクト」です
- こうした「グリーン/ブループロジェクト」に必要な資金を調達するために発行される債券を「グリーン/ブルーボンド」と言います



イメージ

岩手県グリーン/ブルーボンド フレームワークについて

- 岩手県グリーン/ブルーボンド・フレームワークでは、グリーン/ブルーボンドの充当事業の詳細、資金管理方法、レポート項目等について定めています
- 本フレームワークに基づき調達された資金は、環境改善効果が見込まれる事業に充当され、その事業の効果を投資家に適切に情報公開いたします
- フレームワーク及び第三者評価については、本県ウェブサイトにて公開しています



岩手県グリーン/ブルーボンドの情報

URL : <https://www.pref.iwate.jp/kensei/yosan/1059090/1072370/index.html>



岩手県令和5年度第1回公募公債（グリーンボンド・5年）発行概要

発行の背景

- 森・川・海の豊かな自然が存在する本県の環境保全の取り組みでは、森林、河川、海岸等における多様な自然環境を、人の活動と調和を図りながら体系的に保全することが不可欠です
- こうした背景から、気候変動の緩和または適応に資するグリーンプロジェクトのみならず、海洋資源・生態系の保全等に資するブループロジェクトも資金使途に含めた、グリーン/ブルーボンド・フレームワークを、地方公共団体としては初めて策定しました
- このたびのグリーン/ブルーボンド発行による資金調達により、県内におけるGX（グリーントランスフォーメーション）の推進による地域経済と環境に好循環をもたらす持続可能な新しい成長を目指す取り組みを実施するとともに、東日本大震災津波で被災した三陸海岸における海洋と沿岸の保全強化等に資する事業を推進していきたいと考えております

岩手県グリーン/ブルーボンドの概要

銘柄名	岩手県令和5年度第1回公募公債（グリーンボンド・5年）
発行総額	50億円
発行日/償還日	令和5年7月25日/令和10年7月25日
利率	年 0.250%（令和5年7月14日条件決定）
主幹事証券会社	みずほ証券株式会社/野村証券株式会社/大和証券株式会社
適合性評価	本債券の発行に際し、資金使途などを明記した発行の枠組み（グリーン/ブルーボンド・フレームワーク）を策定し、第三者機関である株式会社日本格付研究所（JCR）より、国際資本市場協会（ICMA）によるグリーンボンド原則2021及び環境省グリーンボンドガイドライン2022年版等への適合性について、最上位である「Green1（F）」及び「Blue1（F）」の評価を受けています
購入対象先	機関投資家

令和5年度 投資表明一覧



令和5年度グリーン/ブルーボンドでは、104件の投資家の皆様より趣旨にご賛同いただき、投資表明を実施いただきました

投資表明投資家一覧

- 株式会社アイオー精密
- 株式会社アイケン
- 株式会社アイシーエス
- 社会福祉法人育福会
- 株式会社一条工務店仙台
- 一関市
- 一関信用金庫
- 株式会社 伊藤組
- 岩泉町
- 岩手江刺農業協同組合
- 株式会社岩手銀行
- 岩手県学校生活協同組合
- 岩手県教職員組合
- 岩手県空港ターミナルビル株式会社
- 一般社団法人 岩手県産業資源循環協会
- 岩手県市町村職員共済組合
- 社会福祉法人岩手県社会福祉事業団
- 岩手県信用農業協同組合連合会
- 一般社団法人岩手県測量設計業協会
- 公益財団法人 岩手県体育協会
- 一般財団法人 岩手県退職教職員互助会
- 公益財団法人岩手県予防医学協会
- 公立大学法人 岩手県立大学
- 国立大学法人 岩手大学
- 岩手中央農業協同組合
- 株式会社 岩手日報社
- いわて平泉農業協同組合
- 株式会社エヌティーコンサルタント
- 奥州市
- 株式会社大久保建設
- 大船渡市
- 大船渡市農業協同組合
- 岡堰土地改良区
- 株式会社 オズ
- 株式会社オヤマ
- 株式会社片平新日本技研
- 金ケ崎町
- 株式会社河北折込センター
- 株式会社菊池技研コンサルタント
- 北上市
- 北上信用金庫
- 株式会社北日本銀行
- 共立医科器械株式会社
- 久慈市
- 社会福祉法人久慈市社会福祉事業団
- 医療法人社団敬和会
- 株式会社 越戸商店
- 株式会社小松組
- 株式会社 近藤設備
- 株式会社佐賀組
- 株式会社佐々儀
- 佐藤工業株式会社
- 有限会社 山愛緑化
- 三陸生コン株式会社
- 独立行政法人住宅金融支援機構
- 株式会社 十文字チキンカンパニー
- 新岩手農業協同組合
- 信金中央金庫
- 滝沢市
- 丹内建設株式会社
- 中部水産株式会社
- 東日 株式会社
- 東北エンジニアリング株式会社
- 株式会社東北銀行
- 遠野市
- 社会福祉法人遠野市社会福祉協議会
- 杜陵信用組合
- 株式会社 日盛ハウジング
- 二戸市
- 日本コープ共済生活協同組合連合会
- 日本地震再保険株式会社
- 株式会社日本貿易保険
- 野田村
- 橋爪商事株式会社
- 八幡平市
- 花巻市
- 花巻信用金庫
- 株式会社 ビットエイジ
- 株式会社備品レンタルセンター
- 株式会社平野組
- 洋野町
- 普代村
- 株式会社マイヤ
- 医療法人 松井内科医院
- 株式会社マルカン
- 水沢信用金庫
- 株式会社みずほ銀行
- 三田農林 株式会社
- 株式会社三菱UFJ銀行
- 宮城建設株式会社
- 宮古信用金庫
- 株式会社 村山電機商会
- 宗教法人 毛越寺
- 盛岡ガス株式会社
- 盛岡ガス工業株式会社
- 盛岡信用金庫
- 盛岡水産 株式会社
- 学校法人 盛岡大学
- 株式会社盛岡地域交流センター
- 株式会社モルレイ
- 矢巾町
- 株式会社 吉田測量設計
- リアス環境管理株式会社
- 株式会社 リードコナン

※五十音順

令和5年度
グリーン/ブルーボンド・フレームワーク
に基づくレポーティング

令和5年度 資金の充当状況・環境改善効果に係るレポーティング



令和5年度はグリーンプロジェクト、ブループロジェクトとして以下に充当しました

	事業区分	グリーン・ブルー適格プロジェクト	充当金額(※)	効果/実施事業内容
グリーン プロジェクト	エネルギー効率	<ul style="list-style-type: none"> 県有施設における <ul style="list-style-type: none"> 高効率照明の導入 信号機のLED化 	101百万円	<ul style="list-style-type: none"> いわて花巻空港の照明設備LED化 82箇所（整備中） 使用電力量70%以上削減見込 信号機のLED化 404灯 使用電力量85%以上削減見込
	生物自然資源及び 土地利用に係る環 境維持型管理	<ul style="list-style-type: none"> 国定公園・自然公園等施設整備 事業 	53百万円	<ul style="list-style-type: none"> 公園の適正利用及び環境保護を図るため、自然公園等の施設整備を実施 <ul style="list-style-type: none"> 整備箇所数 12箇所（整備中の箇所含む）
	気候変動への適応	<ul style="list-style-type: none"> 河川改修事業 道路環境改善事業 （無電柱化改良） 砂防事業・急傾斜地崩壊対策事 業 	1,993百万円	<ul style="list-style-type: none"> 河川等関連事業（事業実施箇所数） 33箇所（整備中の箇所含む） 無電柱化推進事業（整備延長） 0.5km 砂防関連事業 <ul style="list-style-type: none"> 事業実施箇所数 41箇所（整備中の箇所含む） 受益戸数（整備完了分） 109戸
	合計	金額	2,147百万円	
	比率	42.9%		
ブルー プロジェクト	生物自然資源及び 土地利用に係る環 境維持型管理	<ul style="list-style-type: none"> 藻場整備 	125百万円	<ul style="list-style-type: none"> 藻場造成実施箇所数 7箇所（整備中） 藻場の造成により、餌場・産卵場の増加に伴う水産資源の回復や藻場による海中の二酸化炭素の吸収が期待されます
		<ul style="list-style-type: none"> 高度衛生管理に対応した漁港施 設の整備 	93百万円	<ul style="list-style-type: none"> 漁港施設整備箇所数 1箇所（整備中） 整備完了後、高度衛生管理により、水産物の安全性の向上及び安定供給に貢献することが期待されます
		<ul style="list-style-type: none"> 水産高校実習船の整備 	587百万円	<ul style="list-style-type: none"> 実習船によって実習を行う生徒数 延べ113人/年（計画値） 水産業の将来を担う人材育成（持続可能な漁法の教育）により、海洋資源の持続的な保全が期待されます
		<ul style="list-style-type: none"> 林道の開設・改良 	690百万円	<ul style="list-style-type: none"> 整備延長 5km（整備中分含む） 林道整備により森林へのアクセスや適切な森林管理が可能となり、水源涵養機能が働き、良質な水資源の安定的な供給が期待されます
		<ul style="list-style-type: none"> 水源涵養のため、荒廃森林を 整備 	548百万円	<ul style="list-style-type: none"> 整備箇所数 32箇所（整備中の箇所含む） 森林整備により水源涵養機能が働き、良質な水資源の安定的な供給が期待されます
	生物自然資源及び 土地利用に係る環 境維持型管理 気候変動への適応	<ul style="list-style-type: none"> 防波堤、護岸等の整備 	811百万円	<ul style="list-style-type: none"> 整備箇所数 29箇所（整備中の箇所含む） 防波堤、護岸等の整備により、安定的な水産業の継続が可能となり、漁業関係者の就労環境の向上が期待されます 防波堤、護岸等の整備により、荒天時の高波被害の防止が期待されます
合計	金額	2,853百万円		
	比率	57.1%		

※ 十万円以下を四捨五入しているため、表中の積み上げと合計が一致しない場合があります



令和5年度 グリーン/ブルーボンドの主な資金使途について①

信号機のLED化 (充当金額91百万円)

- 良好な道路交通環境の維持に向け、長寿命化による維持管理・更新を計画的に進めるとともに、交通安全施設の省エネルギー化を図るものです

プロジェクトカテゴリー	環境面での便益
エネルギー効率	● エネルギー使用量の削減

環境改善効果	
導入件数	車灯180灯 歩灯224灯
使用電力削減量	85%以上削減見込

令和5年度の実施状況

- 令和5年度は、404灯の信号機をLED化しました



LED式の信号機

国定公園・自然公園等施設整備事業 (充当金額53百万円)

- 県内に所在する国定公園・自然公園等に係る公園の適正利用及び環境保護を図るため、整備を行うものです

プロジェクトカテゴリー	環境面での便益
生物自然資源及び土地利用に係る環境維持型管理	● 自然環境の保全

環境改善効果	
整備事業内容・実績	早池峰山山頂避難小屋再整備 (早池峰国定公園) 黒谷地湿原木歩道再整備 (十和田八幡平国立公園) 等
整備箇所数	12箇所 (整備中の箇所含む)

令和5年度の実施状況

- 令和5年度は、7箇所の自然公園等の施設整備が完了しました



着手前

完成後

整備後

早池峰山山頂

十和田八幡平



令和5年度 グリーン/ブルーボンドの主な資金使途について②

河川等関連事業のうち

基幹河川改修事業（充当金額561百万円）

- 浸水被害が懸念される河川において、浸水被害の軽減を図るため、計画に基づき川幅の拡幅・築堤等の河川改修工事を行うものです

プロジェクトカテゴリー	環境面での便益
気候変動への対応	<ul style="list-style-type: none"> 水害・土砂災害等の自然災害発生時の被害リスクの軽減

環境改善効果	
整備箇所数	8箇所（整備中） 北上川（下流）【盛岡市】、 北上川（上流）【岩手町】、 夏川【一関市】、 千厩川（中流）【一関市】、 木賊川【盛岡市、滝沢市】、 気仙川【陸前高田市、住田町】、 安比川【二戸市】、 小屋畑川【久慈市】

令和5年度の実施状況

- 令和5年度は、8箇所では河川改修工事を実施しました



北上川（下流）

砂防関連事業のうち

砂防事業・急傾斜地崩壊対策事業（充当金額358百万円）

- 土石流による被害の防止・軽減を図るため、砂防堰堤等の整備を実施するものです。また、急傾斜地の崩壊による被害を防止するため、擁壁等の整備を実施するものです

プロジェクトカテゴリー	環境面での便益
気候変動への対応	<ul style="list-style-type: none"> 水害・土砂災害等の自然災害発生時の被害リスクの軽減

環境改善効果	
整備箇所数	34箇所（整備中の箇所含む）
受益戸数（整備完了分）	<ul style="list-style-type: none"> 砂防事業 108戸 急傾斜地崩壊対策事業 1戸（指定避難所である小学校）

令和5年度の実施状況

- 令和5年度は、2箇所では土石流対策及び斜面崩壊防止対策に係る工事が完了しました



砂防えん堤（砂防事業）



急傾斜地崩壊防止施設（急傾斜地崩壊対策事業）



令和5年度 グリーン/ブルーボンドの主な資金使途について③

高度衛生管理に対応した漁港施設の整備 (充当金額93百万円)

- 高度衛生管理に対応した漁港施設の整備することにより、水産物の安全性の向上及び安定供給に貢献するものです

プロジェクトカテゴリー	環境面での便益
生物自然資源及び 土地利用に係る環境維持型管理	<ul style="list-style-type: none"> 高度衛生管理により、水産物の安全性の向上及び安定供給に貢献

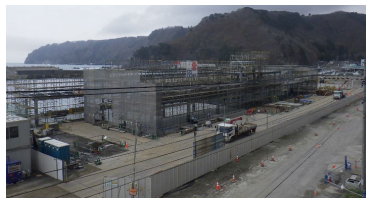
環境改善効果	
漁港施設整備箇所数	1箇所（整備中） 太田名部漁港
整備完了後、高度衛生管理により、水産物の安全性の向上及び安定供給に貢献することが期待されます	

令和5年度の実施状況

- 令和5年度は、1箇所では漁港施設の整備を行いました



太田名部漁港 臨港道路の整備



臨港道路と一体的に整備中の荷さばき所
(村営事業でありブルーボンド対象外)

水産高校実習船の整備 (充当金額587百万円)

- 水産実習に使用する新型の共同実習船を建造し、水産業の将来を担う人材を育成し、水産資源の持続的な生産、保全に貢献するものです

プロジェクトカテゴリー	環境面での便益
生物自然資源及び 土地利用に係る環境維持型管理	<ul style="list-style-type: none"> 水産業の将来を担う人材を育成することで、水産資源の持続的な生産や保全に貢献

環境改善効果	
実習船によって実習を行う 生徒数	延べ113人/年（計画値）
水産業の将来を担う人材育成により、海洋資源の持続的な保全が期待されます	

令和5年度の実施状況

- 令和5年度は、新しい実習船の建造に着手しました



現行の実習船



新しい実習船を建造中



令和5年度 グリーン/ブルーボンドの主な資金使途について④

防波堤・護岸等の整備 (充当金額811百万円)

- 県内に所在する漁港において、防波堤、護岸等の整備・改良を行い、持続的な漁業生産及び高波による被害防止に貢献します

プロジェクトカテゴリー	環境面での便益
生物自然資源及び 土地利用に係る環境維持型管理 気候変動への適応	<ul style="list-style-type: none"> 高波から漁船等を防護することにより、持続的な漁業生産及び高波被害の防止に貢献

環境改善効果	
整備箇所数	29箇所 (整備中の箇所含む)
防波堤、護岸等の整備により、安定的な水産業の継続が可能となり、漁業関係者の就労環境の向上が期待されます	
防波堤、護岸等の整備により、荒天時の高波被害の防止が期待されます	

令和5年度の実施状況

- 令和5年度は、5箇所で行った防波堤・護岸等の整備が完了しました



(両石漁港) 防波堤

藻場の整備 (充当金額125百万円)

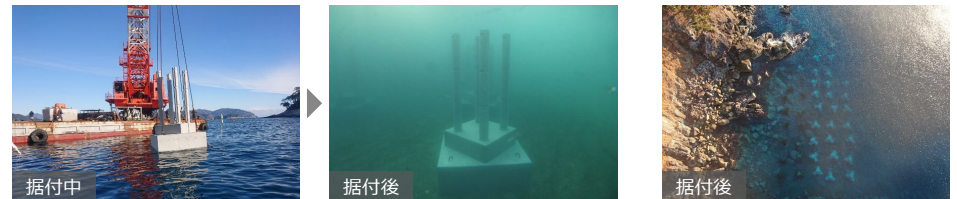
- 水産動植物の生息場となる藻場などの漁場を整備し、漁場における水域環境の改善と生産力の回復による水産資源の増大などに貢献するものです

プロジェクトカテゴリー	環境面での便益
生物自然資源及び 土地利用に係る環境維持型管理	<ul style="list-style-type: none"> 漁場における水域環境の改善と生産力の回復に依る水産資源の増大や、安定供給に貢献

環境改善効果	
整備箇所数	7箇所 (整備中)
藻場の造成により、餌場・産卵場の増加に伴う水産資源の回復や藻場による海中の二酸化炭素の吸収が期待されます	

令和5年度の実施状況

- 令和5年度は、7箇所で行った藻場造成を実施しました



(大槌地区) 藻場

(田老地区) 藻場

岩手県総務部財政課 調査担当

住所 〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号

TEL 019-629-5094

FAX 019-629-5114

HP <https://www.pref.iwate.jp/kensei/yosan/1059090/index.html>